

新庁舎の駐車場の規模、周辺整備について（案）

1 駐車場の規模

平成29年7月に実施した「新庁舎建設に関する市民アンケート調査」では、庁舎への交通手段は、自家用車が最も多いことから、現在の駐車場規模を参考に、新庁舎に必要な駐車場の規模は、来庁者用及び公用を合わせて280台とします。

(1) 新庁舎建設に関する市民アンケート調査結果（再掲）

ア 調査対象

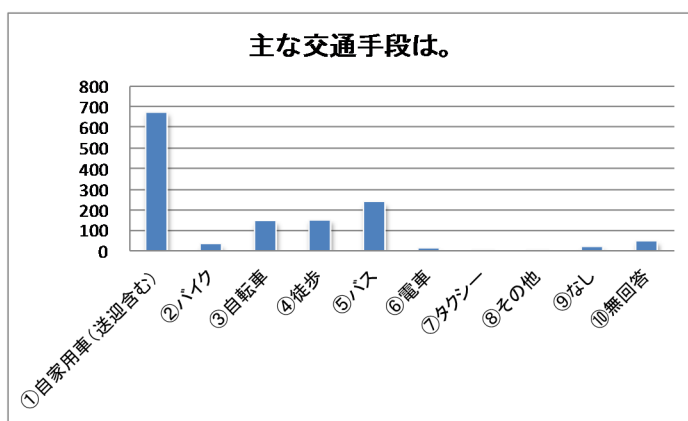
平成29年7月1日現在の住民基本台帳人口から、無作為に抽出した15歳以上の男女4,000人（外国人を含む。）

イ 回答数

1,335人（回答率：33.4%）

ウ 調査結果

現在の庁舎（本庁舎及び第2庁舎）への主な交通手段は。



Q2 主な交通手段は。

①自家用車（送迎含む）	674	50.49%
②バイク	31	2.32%
③自転車	144	10.79%
④徒歩	154	11.54%
⑤バス	240	17.98%
⑥電車	12	0.90%
⑦タクシー	4	0.30%
⑧その他	4	0.30%
⑨なし	22	1.65%
⑩無回答	50	3.75%
計	1,335	

(2) 現庁舎における駐車場規模と必要台数

		駐車可能台数 (身障者含む。)	利用台数／日	必要台数
来 庁 者 用	本庁舎西側	79	803	90
	中央公園地下	500	92	10
	小計	579	895	100
公 務 、 議 会 、 報 道 用	本庁舎南側	66	66	70
	本庁舎東側	11	11	15
	第二庁舎東側	30	28	30
	職安西側	72	61	65
	小計	179	166	180
合計		758	1,061	280

2 周辺整備

中町第2-2地区に庁舎を含めた複合施設を整備した場合の開発交通量を試算したところ、現在の交通体系であっても、交通の処理に問題は起きない結果となっていますが、公共交通の拠点である厚木バスセンターの機能向上や、周辺交通の円滑化を図るため、周辺環境を次のように整備します。

(1) 開発交通量（自動車）の試算

	庁舎 (延床 21,000 m ²)	その他 (延床 21,000 m ²)	計
来訪交通	1,800 台/日	1,508 台/日	3,308 台/日
業務交通	114 台/日	30 台/日	144 台/日
計	1,914 台/日	1,538 台/日	3,452 台/日

※上記台数は発生集中量であり、往路交通に限れば半分の約1,750台/日となる。

(2) 交差点の交通影響評価

交差点番号	現在の需要率 ^{※)}	将来の需要率 ^{※)}
No 1 (東口)	0.275	0.275
No 2 (アミュー前)	0.290	0.433
No 3 (中町)	0.626	0.677
No 5 (東町郵便局)	0.475	0.523
No 6 (小田急ガード)	0.281	0.357

※) 1 サイクルあたりに必要な青時間の割合で、1 を超えると交通を処理できない。

(3) 周辺環境の整備

ア 新規道路の新設

区間：市道 A-358 号線 ～ 県道酒井金田線

イ 既存道路の拡幅

(7) 都市計画道路中町北停車場線（市道 A-9 号線）(12m)

区間：県道本厚木停車場線 ～ 市道 A-5 号線

(1) 都市計画道路中町北停車場線（市道 A-9 号線）(8m)

区間：市道 A-5 号線 ～ 県道酒井金田線

(7) 市道 A-358 号線 (12m)

区間：県道本厚木停車場線 ～ 市道 A-5 号線

(1) 市道 A-5 号線 (12m)

区間：県道藤沢厚木線 ～ 都市計画道路中町北停車場線（市道 A-9 号線）

(7) 市道 A-359 号線 (8m)

区間：県道藤沢厚木線 ～ 市道 A-358 号線

ウ 右折斜線の延伸又は新設

(7) 県道本厚木停車場線の右折滞留長の延伸

(1) 県道藤沢厚木線の右折車線の新設

エ 周辺環境の整備計画

